徳島県マスコット「すだちくん」
承認番号：万第23－105号

徳島県用

令和6年度（2024年度）
危険物取扱者試験　試験案内

（一財）消防試験研究センター徳島県支部

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなします

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により徳島県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

1．試験日・願書受付期間等

受験願書の申請方法は、書面申請（願書による受験申請）と電子申請（インターネットからの受験申請）の2通りがあります。具体的な受験手続は、「9．受験手続(4ページ)」をご覧ください。

試験回	試験日	試験種類 試験開始時間	受付期間 電子及び書面申請	試験会場（予定）	詳細は ホームページの「よくある質問」をご覧ください。
第1回	7月　6日（土）	10：00開始 乙種第1類 乙種第2類 乙種第3類 乙種第4類 乙種第5類 乙種第6類 丙種	5月23日～ 5月30日	あわぎんホール （徳島県郷土文化会館） 徳島市藍場町2－14	消防試験研究センター
第2回	8月24日（土）		7月　5日～ 7月12日		
第3回	11月23日（土）		10月16日～ 10月23日		
第4回	令和7年 2月15日（土）	14：00開始 甲種 乙種第4類	1月　7日～ 1月14日		

乙種第4類は、午前又は午後の何れかを受験票で指定します（午前・午後の選択はできません）

（注） 試験開始の30分前までに集合してください（試験注意事項等の説明を行います）

※ 試験会場の収容人員等の関係で、試験会場及び試験時間等を変更する場合がありますので、必ず受験票で確認してください

※ 受験者用の駐車場は用意していませんので、公共交通機関をご利用ください

※ 試験会場への問合せはしないでください(会場施設は、試験とは無関係です)

徳島県マスコット「すだちくん」
承認番号：万第23－105号

2．受験申請

願書郵送の際は、20ページの 願書送付用宛名ラベル をご利用ください

（1）書面申請による願書受付場所及び受付時間

受付場所	〒770－0943　徳島市中昭和町1－3　山一興業ビル4階 （一財）消防試験研究センター徳島県支部		
受付時間	9：00～12：15 13：00～17：00　（土日、祝日、12月29日～1月3日を除く）		
電話番号	088－652－1199	FAX番号	088－652－1282
※受験願書到着確認には対応できません			

郵送の場合は受付締切日までの消印有効（封筒表に「願書在中」と朱書きしてください）

（2）電子申請

（一財）消防試験研究センターホームページ（https://www.shoubo-shiken.or.jp/）から申請してください。
受付時間は、開始日の午前9時から締切日の午後11時59分までの間、24時間受け付けます。
試験日前に各自で受験票をダウンロードし、印刷する必要がありますのでご注意ください。

3. 受験願書等の配布場所

「危険物取扱者試験案内」、「受験願書」及び「払込取扱票（郵便局（ゆうちょ銀行）窓口用用紙）」の計3点を、次の場所で受け取ってください。

各消防本部、消防非常備町村は各町村役場（勝浦町、上勝町、佐那河内村）
徳島県消防保安課、（一財）消防試験研究センター徳島県支部

4. 試験種類及び受験資格について

（1）甲種　一定の受験資格が必要です
　　10ページに掲載の別記1「甲種危険物取扱者試験の受験資格」を参照
（2）乙種　受験資格は必要ありません
（3）丙種　受験資格は必要ありません

5. 免状の種類と取扱いができる危険物の種類

危険物の種類		免状の種類と取り扱いができる危険物							
			乙種						
種別	性質	甲種	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	丙種
第1類	酸化性固体	○	○						
第2類	可燃性固体	○		○					
第3類	自然発火性物質及び禁水性物質	○			○				
第4類	引火性液体	○				○			○危規則第49条に定めるもの
第5類	自己反応性物質	○					○		
第6類	酸化性液体	○						○	

《注》危規則第49条に定めるもの
　危険物の規制に関する規則第49条に定めるガソリン、灯油、軽油、第3石油類（重油、潤滑油及び引火点130度以上のものに限る。）、第4石油類及び動植物油類

6. 試験の方法、試験科目、問題数及び試験時間

甲種及び乙種は「五肢択一」、丙種は「四肢択一」の筆記試験（マークシート方式）

試験種類	試験科目	問題数	合計	試験時間
甲種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間30分
	② 物理学及び化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種危険物取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

7. 試験科目の一部免除

免除資格を有していて、免除を希望する方は、免除資格を証明する必要書類を提出するとともに、受験願書の「科目免除欄」に記入して、科目免除を申請してください。（申請しないと免除されません。）

（1）甲種 ……科目免除なし

（2）乙種

① 既に乙種危険物取扱者免状を有する方……「法令・物化」の全部を免除

② 「第1類」若しくは「第5類」の受験者で、火薬類免状を有する方
……「物化」の一部、「性消」の一部を免除

免除資格者	免除種類	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全　類	①法　令	全部免除	0問	10問	35分
		②物　化	全部免除	0問		
		③性　消		10問		
火薬類免状を有する科目の一部免除申請者	第1類 第5類	①法　令		15問	24問	1時間30分
		②物　化	一部免除	4問		
		③性　消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	①法　令	全部免除	0問	5問	35分
		②物　化	全部免除	0問		
		③性　消	一部免除	5問		

〔備考〕火薬類免状は、次の免状をいいます。
- 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）
- 甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

（3）丙種

免 除 資 格 者	試験科目	免除内容	問題数	合 計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	①法　令		10問	20問	1時間
	②燃　消	全部免除	0問		
	③性　消		10問		

8. 複数種類の受験

（1）併願受験……試験間帯が異なる場合

午前中に乙種又は丙種を受験し、午後に甲種又は乙種第4類を受験することができます。
（午前及び午後の乙種第4類の併願受験も可能です。）
【例】 午前に丙種、午後に乙種第4類を受験

（2）複数受験……同一試験時間帯の場合

既に乙種免状を持っている方に限り、同じ時間帯に乙種の試験を3種類まで受験できます。
試験時間は35分×3種類＝1時間45分となります。
【例】 乙種第4類の免状を持っている方の、乙種第3類、第5類、第6類を複数受験。

※ 午前に複数受験、午後に甲種受験での併願受験も可能です。

併願受験・複数受験とも受験する種類ごとに願書の提出が必要です。（一括で提出してください。）

9. 受験手続

試験手数料（非課税）　※払込みには所定の手数料が必要です。
※一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。

甲 種	乙 種	丙 種
7, 200円	5, 300円	4, 200円

（1）書面申請

次の書類を整備、提出してください。（郵送の場合は、締切日までの消印有効です。）

ア　受験願書……記入要領は15ページ別記2を参照

イ　試験手数料の「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」※金額訂正無効

＜書面申請の払込み方法＞

①　受験願書と一緒に受領した専用の「**払込取扱票（郵便局（ゆうちょ銀行）窓口用用紙）**」を使用し、試験手数料を**郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。**その際必ず「振替払込受付証明書（お客さま用）」に受付局日附印の押印を受けてください。

受付最終日の郵便局又はゆうちょ銀行の窓口営業時間が過ぎた場合でも、電子申請はご利用いただけます。

②　「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」を受験願書用紙B面の試験手数料欄にのり付けしてください。（金額を訂正したもの、日附印のないもの、及び本人用の「振替払込請求書兼受領証」は無効です。）

複数種類を受験される方や、学校、会社等の団体で2人以上の受験者がいる場合は、一括して合計金額を払い込むことができます。団体の場合、「**振替払込受付証明書（お客様用）**」の依頼人氏名欄に、団体名と受験申請者の内の1人の氏名を記入し、記入した方の受験願書 B 面の試験手数料欄に貼ってください。全ての受験願書は、一括で提出してください。

ATM 機では払い込まないでください。「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」に日附印がないと受付できません。

「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。

紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」を受験願書に貼り付けてください。

なお、再度払い込みをした後で、紛失した「**振替払込受付証明書（お客さま用）**」を発見したときは、還付申請により先に払い込まれた試験手数料をお返しします。

ウ　甲種受験者は、受験資格を証明する書類（10ページ「別記1」中の「証明書類」欄を参照。）

※　卒業証書、免状は、コピー（縮小したものも可）で可

※　なお、過去に甲種の試験を受験したときの受験票若しくは受験票（控）又は試験結果通知書（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、甲種の受験資格の証明に代えることができます。

エ　乙種危険物取扱者試験で、試験科目の免除を受ける受験者は、「乙種危険物取扱者免状」、又は「火薬類免状」の写し（コピー）

オ　丙種危険物取扱者試験で、試験科目の免除を受ける受験者は、「5年以上消防団員として勤務したことを証明する書類（消防団長等が証明するもの）」及び「消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類（消防学校長が証明するもの）」

カ　既に危険物取扱者免状の交付を受けている方は、その免状のコピーを受験願書のB面裏に貼り付けてください。（免状の表と裏の両方をコピーして貼り付けてください。）

（2）電子申請

電子申請を利用される方は、手続きの際に、必ず（一財）消防試験研究センターホームページ（https://www.shoubo-shiken.or.jp/denshi/）の説明をご覧ください。
なお、10名以上団体での電子申請を予定している担当の方は、事前に（一財）消防試験研究センター徳島県支部にご連絡ください。

＜電子申請の払込み方法＞
次の決済方法から選択できます。なお、払込みには、所定の払込み手数料が必要です。

① ペイジー（Pay-easy）決済※情報リンク方式、オンライン方式
② コンビニエンスストア決済（セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート）
③ クレジットカード決済（VISA、MasterCard、JCB、アメリカンエキスプレス、ダイナース）
※（一財）消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全てSMBC ファイナンスサービス株式会社に業務委託しています。

10. 受験票及び写真について

受験票は概ね試験日10日前までに送付します。試験日には、「本人の写真を貼って氏名を記入した受験票」を、必ず持参してください。

（1）受験票の送付方法

ア　書面申請の場合
圧着はがきで郵送します。

イ　電子申請の場合
申請時に入力された電子メールアドレスあてに受験票がダウンロードできる旨のメールを当センターから送信します。受験票をダウンロードして A4サイズ普通紙に印刷してください。

ウ　受験票（はがき又は電子メール）が届かない場合は、試験日前日（土日、祝日を除いた、平日の受付時間）までに当支部に問い合わせてください。

（2）受験票に貼る写真について（書面申請、電子申請共通）
受験日前**6か月以内に撮影**した正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景、上三分身像の**縦4．5cm、横3．5cm** 又はパスポート規格の大きさ、枠無しとし、鮮明なもの（裏面に撮影年月日、氏名及び年齢を記入してください。）を準備して、受験票に貼ってください。
写真は受験者本人の確認及び危険物取扱者免状作成に使用しますので、正しいサイズの写真を受験票にしっかりとのり付けし（セロハンテープは不可。）、試験当日必ず持参してください。
デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明なものとしてください。

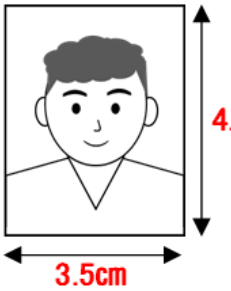
（3）受験票の氏名欄は、受験者の氏名を楷(かい)書で記入してください。

（4）複数受験の場合、受験票ごとに写真の貼付が必要です。

【受験票に貼付する写真の注意点と受験票イメージ】

・背景と頭髪や衣服の色が同色でなく、背景と人物の境目がはっきりしていること
・平常の顔貌と著しく異ならないもの（口を開き歯が必要以上に見えているものは不可）
・前髪などにより、目などの顔の器官や輪郭が隠れていないこと（ヘアバンドも不可）

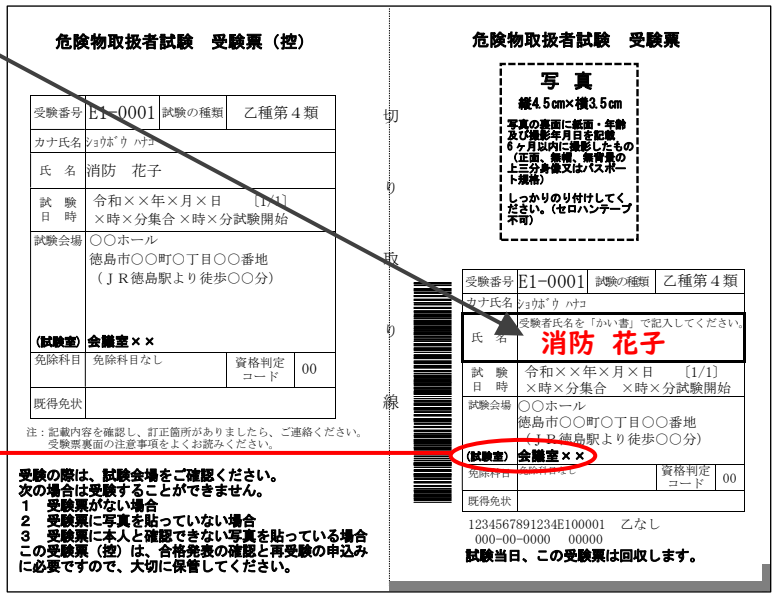
良い写真の例



写真不可の例

書面申請者用受験票イメージ(圧着はがきを開いたもの)

氏名を記入してください



試験当日、会場案内図で試験室を確認してください

電子申請者用受験票イメージ(A4用紙に印刷したもの)

氏名を記入してください

11. 試験当日の注意事項

（1）受験票を持参しないと受験できません。

（2）受験票に、5ページ「10」に示した写真を貼付していない場合、又は貼付した写真が不鮮明な場合には、受験できません。（写真の貼付位置は写真枠部分です。）

（3）試験問題集及び解答カードは持ち帰ることはできません。また、問題集の一部を切り取ったり、カメラ等で撮影することもできません。このような行為をした場合、試験は失格となりますので注意してください。

（4）試験会場で、注意を守らない、係員の指示に従わない等、他の受験者に迷惑を及ぼす恐れがある場合には、退場を命じ、失格とすることがあります。

（5）カンニング等により不正行為とみなされた場合、受験は直ちに中止、退室となり、試験は失格となります。

（6）試験室内は撮影禁止です。

12. その他の注意事項

（1）試験会場及び試験時間等を変更する場合がありますので、必ず受験票で確認してください。

（2）試験当日は、写真を貼った受験票、HB又はBの鉛筆と消しゴムを必ず持参してください。受験票（控）は合格発表等に必要ですので、大切に保管してください。

（3）テンプレート等の定規類、電卓、腕時計型端末等は、一切使用できません。
携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。（これらの電子機器類を時計として使用することはできません。）

（4）当センターへ一旦提出し、受理された受験申請書類は一切お返しできません。

（5）試験開始30分前に集合し、試験に当たっての注意事項の説明を受けてください。

（6）試験会場に受験者用駐車場はありませんので公共交通機関でご来場ください。

（7）試験当日に車椅子等を使用する場合は、受験申請前にご連絡ください。

（8）事故等により、会場や日程を変更する場合には、徳島県支部からの緊急情報として（一財）消防試験研究センターホームページに掲示します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報により、試験日時を変更する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲示します。

13. 試験会場案内図

あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

〒770-0835
徳島県徳島市藍場町2丁目14

（JR徳島駅より徒歩10分）

※試験会場への問合せはしないでください
※受験者用駐車場の用意はありません

14. 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとに60％以上の成績を修めた方を合格とします。（試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。）

なお、乙種第1類又は第5類の受験者であって、前記7（2）により試験科目の一部が免除がある場合は、免除を受けた以外の問題で上記の成績を修めた方を合格とします。

15. 合格発表

（1）合格発表予定日

合格発表予定日は、災害その他の事情により変わることがありますので、試験日当日の案内や、当センターホームページでのお知らせをご確認ください。

試験回	試　験　日	**合格発表予定日**
第1回	7月　6日（土）	**7月　25日（木）**
第2回	8月　24日（土）	**9月　11日（水）**
第3回	11月　23日（土）	**12月　11日（水）**
第4回	令和7年　2月　15日（土）	**令和7年　3月　6日（木）**

（2）発表方法

発表日に合格者の受験番号を、徳島県支部入口に公示するとともに、正午より当センターのホームページ上に掲示します。また、受験者全員に結果通知書を郵送します。

なお、試験結果の合否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

（3）試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは、当センターとは、一切関係ありませんのでご注意ください。

16. 免状交付申請の手続き及び免状の交付

（1）試験に合格した方は、次の書類を郵送して免状の交付申請をしてください。

ア　危険物取扱者免状交付申請書（試験結果通知書）は、切り離さないで、申請日、申請者名（合格者本人）、電話番号（日中連絡先）を記入してください。

イ　申請手数料2，900円（徳島県収入証紙）

※ 徳島県収入証紙は、阿波銀行、徳島大正銀行の本・支店で販売しています。

※ 一度に複数種類の申請をする場合でも、免状交付申請書それぞれ一件ごとに2，900円分です。

ウ　免状返送用封筒（定形封筒：長さ14～23．5㎝、幅9～12cm）表面に自分の宛先を、裏面下に受験番号を記入して、最新の簡易書留郵便料金分（詳細は結果通知書をご覧ください。）の切手を貼ってください。

エ　既得免状（現在所持している危険物取扱者免状）

※　既得免状を紛失（亡失）した方は「再交付」の手続きを、また、本籍、氏名等の変更が必要な方は、書換えの手続きが必要です。詳細はお問い合わせください。この手続きが完了しないと、新規の免状が交付できません。

（2）合格発表後の免状の交付（第1回目）は、合格発表から概ね3週間後を予定しています。それ以降は、申請受理後概ね1か月です。ただし、諸事情により前後することがあります。

17. 個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

（1） 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、免状交付申請書、受験票への表示、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

（2） 当センターは、利用目的達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。

その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器などの安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

18. 問い合わせ先 （土日、祝日、12月29日～1月3日を除く。）

（1）受験に関すること

（一財）消防試験研究センター徳島県支部
電　　話：088－652－1199
ﾌｧｸｼﾐﾘ：088－652－1282

（2）電子申請に関すること

電子申請（インターネットからの受験申請）については、当センターのホームページに利用方法や、Q＆Aが掲載されていますので、電子申請に当たっては、必ずこれをご確認の上お申込みください。

（一財）消防試験研究センターホームページ
https://www.shoubo-shiken.or.jp/

電子申請に関するトラブルなどの問合せは下記までお願いします。

（一財）消防試験研究センター電子申請室
電　　話：0570－07－1000 （有料）

※ 一般財団法人消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の案内は、一切行っておりません。

合格後は免状の交付申請をお忘れなく

別記1

甲種危険物取扱者試験の受験資格

受験資格は下表のとおりです。

※　氏名が変わっている場合は、戸籍抄本等を添付してください。（新旧のわかるもの。）

対　象　者	大 学 等 及 び 資 格 詳 細	願書資格欄記入略称	証 明 書 類
〔1〕 大学等において化学に関する学科等を卒業した方（専門職大学の前期課程を修了した方） （別表1参照）	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 専門職大学の前期課程を修了	大学等卒	卒業証明書原本 又は 卒業証書コピー （学科等の名称が明記されているもの）
〔2〕 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 （別表2参照）	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校（高等専門学校は専門科目に限る）、大学院、専門職大学院、専修学校、大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15単位	単位修得証明書原本 又は 成績証明書原本 （修得単位が明記されているもの）
〔3〕 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者免状コピー　及び 乙種危険物取扱実務経験証明書
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ○第1類又は第6類　○第2類又は第4類 ○第3類　○第5類	4種類	乙種危険物取扱者免状コピー
〔4〕 修士・博士の学位を有する方 （別表1参照）	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻したもの（外国の同学位も含む。）	学　位	学位授与証明書原本、 学位記コピー、 修了証書コピー又は 修了証明書原本 （学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの）

［備考］

1　〔1〕の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。

2　〔1〕、〔2〕の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。（ただし、表の証明書類に次の①又は②の内容が記載されている場合は、次の①又は②の書面は不要です。）

①専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し

②専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面（書式例1を参照してください。）

3　〔2〕の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわりなく算定することができます。放送大学も同様に算定できます。

4　〔2〕の「単位修得証明書」は、書式例2を参照してください。

5　〔3〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書のB面裏の様式を使用してください。

6　旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。

7　過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票（控）又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。

8　「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

別 表 1

化学に関する学科等の例

1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
（ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。（例）「人類文化学科」等）
2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製剤学科	フ	物質工学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		製糸学科		物質生物科学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		製造薬学科		物質生物工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体機能応用工学科		物質生命工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生体物質工学科		物質生命ｼｽﾃﾑ工学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生体分子工学科		物質分子科学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物応用工学科		物質分子学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物機能工学科		物質理工学科
	応用微生物工学科		材料加工学科		生物工学科		プロセス工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物資源科学科		分子工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物資源利用学科		分子システム工学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物生産科学科		分子生物学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		生物分子科学科		分子生命科学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		生物薬学科		分子素材工学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		精密素材工学科		
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能物質科学科		資源工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	金属加工学科		システム量子工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	金属学科		食品科学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属工学科		食品学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属材料学科		食品工学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属材料工学科		食品工業科学科		素材工学科		薬剤学科
ケ	原子工学科		食料科学科	ト	塗装科		薬品科学科
	原子力科		森林資源科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
	原子力工学科				醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子炉工学科			フ	物質科学科	リ	林産学科
					物質科学工学科		林産工学科

別 表 2

化学の授業科目例

1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
（ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。（例）「進化学」等）
2 次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称	
ア	ｱﾓﾙﾌｧｽ物性工学 安全管理学 安全工学 安全防災工学
イ	移動現象論 移動速度論 医薬品安全性学 医薬分子設計学 医用高分子機能学
エ	衛生工学 衛生薬学 栄養学 エレクトロセラミックス ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ材料工学
オ	応化・プロセス工学
カ	回折結晶学 界面工学 界面制御学 界面電子工学 界面物性 科学史 核燃料工学 核燃料サイクル特論 核融合概論 核融合工学概論 化工熱工学 化工熱力学 化工物理学 化工流体工学 化石エネルギー 火薬学 ガラス工学 ガラス材料 ガラス状態論 ガラス物性 環境汚染物質分析学 環境物質工学 感光物性論 岩石学 官能基変換論
キ	機器分析 機能高分子学 機能性高分子材料学 機能性材料工学 機能性触媒工学 機能性有機材料 機能セラミック論 凝固論及び結晶生成 金相学
キ	金属学 金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性
ケ	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料
コ	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料ﾌﾟﾛｾｽ特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物学 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論
コ	固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学
サ	細胞培養学 材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元 産業廃水処理
シ	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論
ス	水質学
セ	製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミック概論 セラミック材料工学 セラミック電子材料 ｾﾗﾐｯｸﾌﾟﾛｾｼﾝｸﾞ セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論

化学の授業科目の名称

ソ	相平衡論 相変態論 素材工学
タ	耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学
チ	超高温材料 調剤学
テ	鉄鋼材料学 鉄鋼表面処理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学 電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学
ト	同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学
ニ	ニューセラミック学
ネ	燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学
ノ	農薬学
ハ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論
ヒ	非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学
フ	ﾌｧｲﾝｹﾐｶﾙ工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動ﾌﾟﾛｾｽ特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 ﾌﾟﾗﾝﾄｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ プロセス工学 ﾌﾟﾛｾｽｼｽﾃﾑ工学 プロセス制御工学
フ	ﾌﾟﾛｾｽﾀﾞｲﾅﾐｯｸｽ プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学
ヘ	平衡論 平衡・反応論
ホ	放射線計測学 放射線物性計測学
マ	膜機能工学 マテリアル工学
ミ	水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論
ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学
メ	免疫薬剤学
モ	木材化工学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化工学 木質資源工学
ヤ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学
ユ	有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
ヨ	窯業工学 窯炉工学
リ	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学
レ	レオロジー

備　考

1　授業科目名の前後に基礎、応用、論、序論、理論、各論、概論、特論等の名称の付くものは、同一の授業科目とみなすことができます。

2　上記表の科目は、化学の授業科目の例示です。化学の授業科目は頻繁に変更され、また、新規の授業科目も開講されているので、上記表の科目以外にも化学に関する授業科目はあります。大学等において、「化学に関する授業科目」であることを明記した単位修得証明書を発行された科目については、原則として「化学に関する授業科目」として認められます。

書式例1　専修学校用受験資格証明書

〇〇第　　号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書（専修学校用）

〇〇 年　月　日　入学　〇〇科〇〇コース
〇〇 年　月　日　修了

氏名　〇〇　〇〇
年　月　日　生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 〇〇　年　月　日　号	
課程の名称	〇〇〇〇専門課程
修業年限	2　年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。

年　月　日

（専修学校の所在地）
〇〇専門学校　学校長　氏名　〇〇　〇〇　　印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例2　単位修得証明書

〇〇第　　号

単位修得証明書

〇〇 年　月　日 入学　〇〇部〇〇科
〇〇 年　月　日 修了

氏名　〇〇　〇〇
年　月　日　生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有 機 化 学	4	高分子化学	2
無 機 化 学	4	分 析 化 学	2
燃 焼 工 学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。

年　月　日

〇〇大学　学長　　氏名　〇〇　〇〇　印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。
《注》学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

別記2

受験願書の記入要領

- 受験願書は、本人が記入してください。
- A面及びB面があり複写式となっていますので、2枚重ねてていねいに記入してください。
- 黒色のボールペンで、かい書で正しく書いてください。
- 書き損じた場合は、横2本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください。
- 年月日を記入する欄では、1桁の数字の場合、必ず0(ゼロ)を前に付けてください。

A面

①	都道府県名欄には「徳島県」(受験をする都道府県名)と記入してください。
②	申請日を記入してください。
③	左づめで記入してください。また、カナ氏名の濁点・半濁点は、1マスを使用してください。
④	左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
⑤	該当する元号に〇を付け、生年月日を記入してください。 本籍の都道府県名を記入してください。外国籍の者は、「外国籍」と記入してください。 本籍コードは、受験願書B面裏の都道府県等コードを必ず記入してください。
⑥	郵便番号は、正確に記入し、住所は現に居住している所を都道府県名から記入してください。また、濁点・半濁点が入る場合には、1マスに入れてください。 2段目はアラビア数字とハイフンで記入してください。
⑦	電話番号の局番等の間は1マス使用して「－」でつなげてください。
⑧	勤務先・学校名等を記入し、職場又は自宅等で連絡の取りやすい電話番号を記入してください。
⑨	試験日を記入してください。
⑩	受験する試験の種類に〇を付けてください。 乙種の受験者は、受験する危険物の類を記入してください。
⑪	受験地を「徳島」と記入してください。
⑫	甲種の受験者は、別記1「甲種危険物取扱者試験の受験資格」の願書資格欄記入略称のうち、該当するものを記入するとともに、受験資格の証明書類を受験願書B面裏の各種証明書貼付欄に必ずのり付けしてください。 過去の受験票等を使用する場合も、受験資格の略称は必ず記載してください。
⑬	乙種第1類又は第5類の受験者で、火薬類免状の保持者は、該当する事項に〇を付けてください。「受ける」に〇を付けた場合は、火薬類免状のコピーを受験願書B面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。 既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている受験者は、〇を付け、免状のコピーを受験願書B面裏の既得危険物取扱者免状貼付欄にのり付けしてください。 5年以上消防団員として勤務し、かつ消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了している丙種の受験者は、〇を付け、消防団員歴証明書と消防学校の教育修了証明書を、受験願書B面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。 該当しない試験種類の受験者は、記入不要です。

⑭	今回の危険物取扱者試験で、2種類以上の試験を受ける場合は、この願書以外に受験する試験の種類を記入してください。
⑮	書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方はメールアドレスを記入してください。（携帯電話アドレス可。） なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定（ドメイン名shoubo-shiken.or.jp）を行ってください。
⑯	3か月以内に①の徳島県以外で受験の申請又は受験した場合は、都道府県コード、試験種類、試験日を記入してください。
⑰	現在の職業で、該当する箇所に〇を付けてください。
⑱	既に危険物取扱者免状の交付を受けている方は「有」、ない方は「無」に〇を付けてください
⑲	危険物取扱者免状の交付を既に受けている方は、該当する種類の元号コード（昭和：3 ・ 平成：4 ・ 令和：5）、免状交付年月日、交付番号、交付知事、都道府県コードを記入してください。 なお、科目免除や受験資格にかかわらず、免状のコピー（表面と裏面）を受験願書B面の裏にのり付してください。
⑳	免状の写真下に記載されている12桁の番号を記入してください。

B面

①	所定の払込用紙を使って、試験手数料（4ページ参照。）を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください。（金額の訂正は無効。） 郵便局又はゆうちょ銀行の受付局日附印を確認し、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を全面のり付けしてください。 注：本人用の「振替払込請求書兼受領書」では受付できませんので、注意してください。また、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失しても、当センターでは責任を負えません。

B面裏

②	「実務経験」の受験資格で甲種を受験する方は、事業所等の証明が必要です。 「事業所等の印」及び「証明者の印」の押印を忘れずに受けてください。 他の証明書様式を使っても、証明内容が充足していれば支障ありません。 他の受験資格で受験される方、甲種以外を受験される方は、必要ありません。
③	既に危険物取扱者免状を所有している方は、科目免除等の有無に関わらず、免状のコピーをB面裏に貼付してください。

危険物取扱者試験受験願書記入例

◎　受験願書A面の（記入上の注意）をよく読んで、記入例にしたがって記入してください。
書き損じた場合は、横2本線を引いてそのすぐ上に正しく書いてください。

◎　受験願書はA面B面の2枚**複写式**です。**重ねて記入してください。**

危険物取扱者試験受験願書（全国共通）

危

※

一般財団法人　消防試験研究センター理事長　殿

都道府県名 ①	徳島県	申請日 ②	令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日

③ 申請者氏名	フリガナ ショウボウ	フリガナ ハナコ	フリガナ・氏名は氏と名に分けて、左づめで記入してください
④	氏 消防	名 花子	

⑤ 生年月日	大 昭 平 令 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日生	本籍 徳島 都道府県	本籍コード 36
⑥ 郵便番号	770 - △△△△ 必ず記入してください	⑦ 自宅電話番号又は携帯電話番号	088－6△△－××××（ご本人様のものを記入してください）
住所	徳島県○○市○○町○○字○○ △－△△ ○○○○○ハイツ×××号室	⑧	勤務先名又は学校名 ○○商事 連絡先電話番号（携帯電話も可） 088－ ××× － ×××× 内線（△△△）

切り離さないでください

⑨ 試験日	令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日		※1
⑩ 試験種類	甲 乙 丙 種 － 第 4 類		
⑪ 受験地	徳島		※2 受験地
⑫ 甲種受験資格			※3 資格
⑬ 科目免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を	受ける / 受けない	※4 免除
	乙種危険物取扱者免状の交付を	受けている	※5 複数
	5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に	該当する	※6 併願
⑭ 同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること	甲 乙 丙 種 － 第 類		

⑮ メールアドレス（任意）　@

⑯ 他の都道府県での受験申請状況

都道府県コード	試験種類	試験日
	甲 乙 丙 類 第 類	月 日
	甲 乙 丙 類 第 類	月 日

⑰ 該当する職業等に1つだけ○を記入してください

① 高校生
② ①以外の学生、教育・研究機関
③ ガソリンスタンド
④ 化学工業
⑤ 危険物の卸売販売、小売業
⑥ 危険物の運送業
⑦ 危険物を扱うその他の事業
⑧ 公務員
⑨ 警備業
⑩ ビル管理業
⑪ その他

⑱ 免状取得の有無について記入してください　1 有　0 無　　免状番号 ⑳ ×××× ×××× ××××

⑲ 取得している危険物取扱者免状は全部記入してください

	元号コード（昭和:3 平成:4 令和:5）	免状交付年月日	交付番号	※入力番号	交付知事	コード
甲		年 月 日				
乙1		年 月 日				
乙2		年 月 日				
乙3		年 月 日				
乙4		年 月 日				
乙5		年 月 日				
乙6		年 月 日				
丙	4	○○ 年 ○○ 月 ○○ 日	×××××		徳島	36

（記入上の注意）
- ※印は、記入しないでください
- 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「がい書」で記入してください
- 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください
- ◎ 枠は該当するものに○を記入してください
- 免状番号は、免状写真下に記載されている番号です

※団体コード　※受付機関コード　※分類コード　※［　］

（A面）
試験センター発行

15、16ページの要領に沿って記入してください。

B面

様式第25（第57条関係）

危険物取扱者試験受験願書

※ □

一般財団法人　消防試験研究センター理事長　殿	都道府県名		申請日	年　　月　　日
申請者氏名				
生年月日	大・昭・平・令　　年　　月　　日生		本籍	都道府県
郵便番号	□□□－□□□□	自宅電話番号又は携帯電話番号		
住所		勤務先名又は学校名		
		連絡先電話番号		

試験日	年　　月　　日	※1
試験種類	甲　乙　丙　種　－　第　　類	※2 受験地
受験地		※3 資格
甲種受験資格		
科目免除	火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を（受ける）	※4 免除
	乙種危険物取扱者免状の交付を（受けている）	
	5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に（該当する）	※5 複数
		※6 併願

①

振替払込受付証明書（お客様用）
（郵便局・ゆうちょ銀行⇒ご依頼人）
この受付証明書に日附印を押印し、依頼人に交付してください。

切り取らないで窓口にお出しください。金額の訂正は無効です。

払込金額	※ ¥××××
加入者名	一般財団法人 消防試験研究センター
口座記号番号	00170-3-136220

※
ご依頼人住所
〇〇市〇〇町〇〇字〇〇
△-△△
〇〇〇〇〇ハイツ△△△号室
氏名
消防　花子
（電話　088 － ××× －××××）
[郵便局へ]⇒日附印を押印

日附印
〇〇郵便局
年.月.日

金額訂正は無効

受験願書に貼ってください

試験手数料の「振替払込受付証明書（お客様用）」をのり付けしてください。

受付局の日附印なき証明書は無効

備考
1　この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2　本籍の欄は、本籍地の属する都道府県名を記入すること。ただし、外国籍の者は、「外国籍」と記入すること。
3　※印の欄は、記入しないこと。

※受験番号

※団体コード □□□　※受付機関コード □□　※分類コード □□□□　※［　　］

（B面）

B面裏

各 種 証 明 書 等 貼 付 欄

この部分にのりづけしてください。
なお、この部分に「**振替払込受付証明書**」は貼付しないでください。

都道府県等コード表

北海道	01	福　島	07	東　京	13	山　梨	19	滋　賀	25	鳥　取	31	香　川	37	熊　本	43
青　森	02	茨　城	08	神奈川	14	長　野	20	京　都	26	島　根	32	愛　媛	38	大　分	44
岩　手	03	栃　木	09	新　潟	15	岐　阜	21	大　阪	27	岡　山	33	高　知	39	宮　崎	45
宮　城	04	群　馬	10	富　山	16	静　岡	22	兵　庫	28	広　島	34	福　岡	40	鹿児島	46
秋　田	05	埼　玉	11	石　川	17	愛　知	23	奈　良	29	山　口	35	佐　賀	41	沖　縄	47
山　形	06	千　葉	12	福　井	18	三　重	24	和歌山	30	徳　島	36	長　崎	42	外国籍	99

②
乙種危険物取扱実務経験証明書

氏　名			年　月　日生
取り扱った危険物	第　　類	品　名	
取り扱った期間	年　月　日から　　年　月　日まで （　　年　月）		
製造所等の区分	・製造所　　・貯蔵所　　・取扱所		

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明年月日　　年　月　日

事業所名

証明者　役職

氏名

電話　　―　　―

事業所等の印

証明者の私印

甲種危険物取扱者試験を受験する方は、各種証明書類（必要事項が記入されており、押印されているもの。）を貼付して下さい（消防法第１３条の３第４項第１号及び第２号）。

③
既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

既に危険物取扱者免状の交付を受けている方は、
必ず免状コピーを貼付してください。

裏　　表

※各証明書等について、内容確認のため連絡をさせていただくことがあります。

（B 面裏）

危険物取扱者試験

電子申請のご利用について

（免状番号の記載のない免状などの場合は書面申請でお願いします。）

電子申請（インターネットからの受験申請）

1　（一財）消防試験研究センターのホームページから申請でき、
　　また、手数料額の誤りもありません。

2　試験手数料の「払込手数料」は書面申請より少額です。

3　電子申請できる危険物取扱者の試験種別には条件がありますので
　　ホームページで確認してください。

4　団体で10名以上電子申請により申請を行う場合は、事前に支部に
　　ご連絡ください。

5　受付期間は、各試験ごとに異なります。それぞれの日程を十分
　　ご確認の上、ご利用ください。

6　受験票はダウンロードし、印刷して作成してください。

徳島県マスコット「すだちくん」
承認番号：万第23－105号

（一財）消防試験研究センターホームページ（https://www.shoubo-shiken.or.jp/denshi）
に詳細な利用方法やQ＆Aが掲載されていますので、ご確認のうえお申し込みください。

電子申請問合せ先：（一財）消防試験研究センター電子申請室
専用電話　0570－07－1000　（有料）

点線に沿って切り取り、宛名ラベルとしてご利用ください。
受験する都道府県支部に提出してください。

キ リ ト リ 線

770－0943

徳島市中昭和町1丁目3番地 山一興業ビル4階

（一財）消防試験研究センター
徳島県支部 行

願書在中

書面申請受付締切日の消印有効

危険物取扱者

キ リ ト リ 線